



鶴の便り 鶴の便り

夕鶴の里資料館報
平成28年1月20日
第 61号
発行 夕鶴の里
TEL 47-5800

年頭のごあいさつ

新年あけましておめでと
うございます。例年になく
雪の全くない健やかな新年
をお迎えのことと夕鶴の里
職員一同心からお慶び申し
上げます。

十干十二支（じつかんじ
ゆうにし）所謂、干支（え
と）では、本年は丙申（ひ
のえさる）年で、四年に一
度の閏（うるう）年でもあ
ります。干支は六十年で一
巡することから還暦といわ
れております。

思い起こせば、今から六
十年前の私は、小学一年生
の頃だったでしょう。そ

の当時の正月は、今の車社
会とは程遠く、雪深い中で
ひっそりと新年を迎えたよ
うに思います。

正月二日の夜には、半紙
とか千代紙に和歌の一首を
書き、それを舟の形に折つ
て枕の下に敷いて寝ると良
い夢が見られるとして姉達
にして貰ったことが思い出
されます。その歌は、上か
ら読んでも下から読んでも
同じだよと教えられ、今で
も覚えております。『長き
夜の遠の睡りの皆目覚め波
乗り船の音の良きがな』こ
れを現代読みにするとな
がきよのおのねふりのみ
なめざめなみのりふねのお
とのよきがな』となるよう
です。
初夢で良い順から並べる



と「一富士二鷹三茄子とさ
れ、四に扇で五が煙草、六
が座頭となつていようよう
す。皆様の初夢はいかがだ
ったでしょうか。

それから、小正月になり
ますと、地域の子ども達が
集まって「さいと焼き」が
行われ、「ヤハハエロー」の
かけ声で招福を祈ったこと
が懐かしく思い出されます。
今は遠い昔になつてしま
い、昔から受け継がれた正
月行事や地域行事は、年々
色あせてまいりましたが、
先人からのメッセージとし
て伝えられてきた昔話や民
話は勿論、ふるさとに残る
風俗、風習は良き日本文化
の一つとしてこれからも残
して行きたいものだと思っ
ております。
平成五年四月の開館から
二十四年目の輝かしい年を

迎えた夕鶴の里は、教育、
文化、観光の施設として全
国から脚光を浴びておりま
す。今後とも生涯学習の場
として幼児から高齢者の方
まで多くの皆様にご愛され親
しまれる施設経営を旨とし
て取り組んで参りますので、
より一層のご支援ご協力を
賜りますようお願い申しあ
げ年頭のご挨拶といたしま
す。

夕鶴の里館長 高橋大吉

春の行事

（春、2月）



年祝い

二月一日に年祝いの人が
いる家では、根付いた松
を取って、松を植えて大き
く（そのとを植えて大き
く）男は、二十歳、女は、
十五歳、三十三歳と言

わられていた。ア和田地区では根のついた酢味噌あえにして食べる。

コトハジメ

二月八日を「コトハジメ」といい、この朝にだけ餅を食べるといいう地域もあるが当地域ではあまり聞かれなかつた。

節分

豆ガラを二つに割って煮干を挿めて、家の中の主な出入り口の障子に差して豆まきをしたというが、当地域ではあまり聞かれなかつた。

初午

作神であり、養蚕の神様でもある宮城県の竹駒詣りに行って、大きいだるまを買ってきた。

寒行

法華宗だけの行事。二月ごろに、白装束のうちわ太鼓をどんどんと鳴らして、区内を廻った。昭和二十二年ごろまでできていた。



漆山小学校・中川小学校 出前語り部養成講座

地域の文化を学び、表現力の向上を図るため、今年度は漆山小学校の四・五年生と中川小学校の四年生を対象に合同で、十二月十日、一月十四日、一月二十八日の三日間にわたり出前語り部養成講座を開講。(一月十四日は漆山小学校のみ)

二月一日、二日には、朝自習の時間を利用して、四・五年生全員の語りの発表会が行われる予定です。



語りの練習の様子
真剣に取り組んでいます
頑張れ未来の語り部さん!

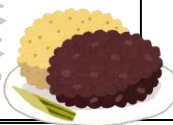
昔のあそび

「おほぎ」を作ってたべよう

◆一月二十三日(土)

午前十時

◆夕鶴の里調理室



11月の昔のあそび

どら焼きを作って食べました。大成功!

お願い

貸館について

- ◇使用の際は事前に夕鶴の里へ使用申請書を提出してください。
- ◇電気・冷暖房は必ず消して下さい。
- ◇調理室の水道を利用した際は、必ず水抜きを行ってください。(凍結防止)
- ◇使用時に出たゴミは、各自持ち帰って下さい。
- ◇使用後は必ず日誌に記入してください。
- ◇使用後の施設は間違わないように行ってください。

無断駐車は「遠慮下さい」

積雪が多くなりますと、駐車場が狭くなります。無断駐車は除雪の妨げになりますので、遠慮ください。やむを得ず駐車する場合は来館、又は電話等でご連絡下さいませ。ようお願いします。

☎ 47-5800

